

事業別の概況

■売上概況

●電池事業

アルカリ乾電池は、東日本大震災発生後、国内市場への輸入品の流通が増加したことなどにより、前年同期を大きく下回りました。ニッケル水素電池は、工業用途向けが前年同期並みを確保したものの、欧州市況の低迷により市販用途向けが振るわず、前年同期を大きく下回りました。リチウム電池は、北米市場において防災機器・セキュリティ用途向けが好調であったものの、欧州市場向けが振るわず、前年同期を下回りました。

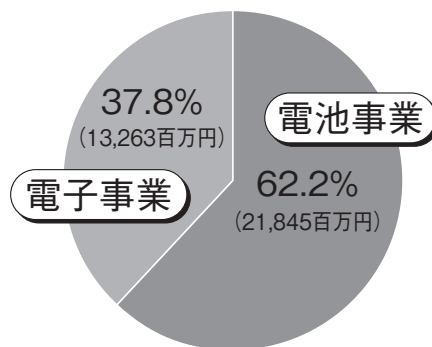
その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ50億57百万円減の218億45百万円となりました。

●電子事業

コイル製品ならびに圧電部品は、自動車の生産回復、一眼レフカメラ市場の活況に支えられ、高い水準を維持しました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、世界規模での液晶ディスプレイの生産調整が継続し、TV用ならびにモニター用が減少し、スイッチング電源は、ストレージ向けが減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ16億70百万円減の132億63百万円となりました。

■売上高構成比率



■売上高

